

第9回大阪府社会人バスケットボール選手権大会

大会注意事項

令和8（2026）年度

連盟からのお願い

全員で社会人としてのマナー、モラルを守り、
スポーツマンシップに則ったふるまいを心がけてください。

連盟の定めたルールを遵守してください。

大会開催中、帯同審判・オフィシャルの割り当てが変更になること
もありますので、随時、大会日程を連盟HPで確認してください。

JBA登録について

- 大会参加は、**2026年3月31日**までに当連盟へのJBA登録を完了したチームに限ります。
- 継続登録チームは、コーチ、帯同審判ともにJBA公認E級以上のライセンス保有者を登録してください（新規登録チームは、P6、P7参照）。
- 2026年3月31日までに登録を完了したチームは、**2026年5月31日**まで、選手の追加登録を認めます。ただし、この期間であっても、**移籍は認めません**。
- **移籍は年度内1回のみ**とし、必ず「移籍申請書」（連盟ホームページ「ダウンロード」に掲載）を作成し、連盟に提出してください（P5参照）。
- **2026年6月以降は、前期リーグ戦の自チームが入るリーグの全試合終了後、順位が確定し、自チームの近畿ブロック予選、全国大会への出場権がなくなったチームのみ、移籍と新規登録による選手の追加を認めます**。
- スタッフ（コーチ、審判、マネージャーなど）の追加登録に期限はありません。
- フレンドリーカテゴリーは、選手、スタッフの追加登録に期限はありません（ただし、移籍は年度内1回まで）。
- JBA登録に人数制限はありません。
- **チームに登録のない選手の出場が確認された場合の対応は、連盟預かりとします。**
例）没収試合、次年度の登録を認めない、など

試合当日の受付について

- 競技者登録証やメンバー表など下記**すべての提出物（※本年度のもの）**を前試合のハーフタイム（ゲームが1試合目のチームは試合開始20分前）までに大会本部に提出してください。
- すべて**プリントアウト**してご提出ください（デジタル不可）。
- チームに審判割当がなく、審判が連盟派遣の場合でも、**すべての提出物**を提出してください。

提出物


- ①メンバー表（連盟HP「ダウンロード」に掲載）
- ②競技者登録証（写真を貼付しているもの）
- ③チームメンバー一覧表
- ④帯同審判登録証
- ⑤JBA公認審判登録証（ライセンスが記載されているもの）※本人持参
- ⑥JBA公認コーチ登録証（ライセンスが記載されているもの）※本人持参

- ゲームエントリー（メンバー表の提出）は、選手16名以内、ヘッドコーチ、アシスタントコーチを含むスタッフ6名以内とします。
- 受付時、大会遵守事項確認書を読み、必ず同意のサインをしてください。


提出物について（すべて本年度のもの）

- ①メンバー表は、連盟指定の形式を使用してください。
連盟ホームページからダウンロードし、
ファウルの欄までご準備ください。

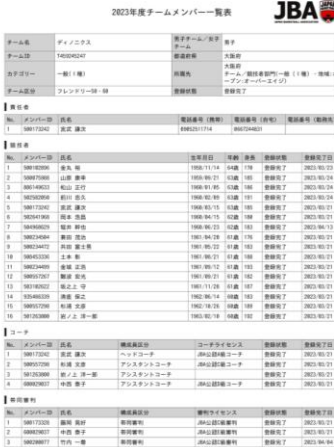
①



②



③

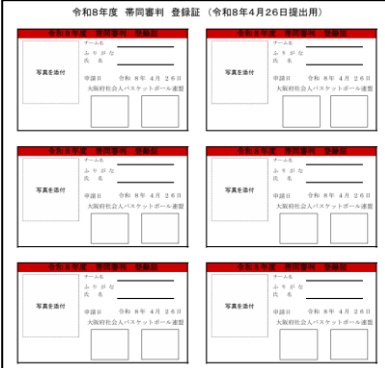


- ②競技者登録証（写真貼付）と③チームメンバー一覧表は、**チーム責任者**がTeamJBAからダウンロードし、プリントアウトして提出してください。
※②競技者登録証（写真貼付）はスマートフォンからはダウンロードできません。


- ④帯同審判登録証は、連盟主催の帯同審判講習会を受講した審判員に発行します。

- ⑤JBA公認審判登録証と⑥JBA公認コーチ登録証は、**ライセンス保有者**がTeamJBAからダウンロードし、プリントアウトして提出してください。

④



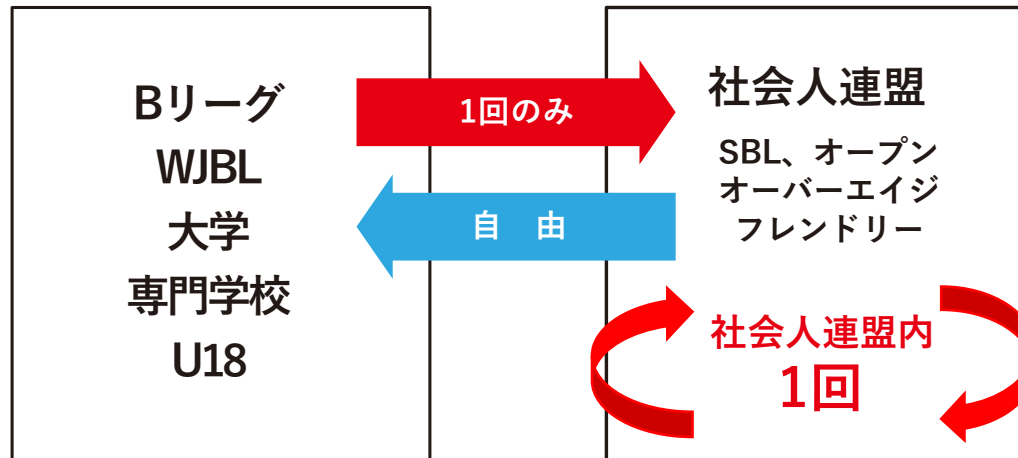
⑤・⑥



（ライセンスが記載されているもの）
※ライセンスは本人持参のこと

移籍について

- 移籍は**年度内1回のみ**とし、必ず「移籍申請書」（連盟ホームページ「ダウンロード」に掲載）を作成し、連盟に提出してください。
- 前チームから登録が外れていても、当年度の登録履歴がある場合、移籍となります。
- 都道府県が変わる場合も移籍となります。



令和8年度 大阪府社会人バスケットボール連盟

移籍申請書

○ 申請者（移籍先チーム責任者）

下記の競技者を _____ 年度 当チームで登録いたしたく申請いたします。

〒 _____
 住所 _____
 チーム名 _____
 チーム ID _____
 代表者名 _____ ㊟

○ 競技者氏名

〒 _____
 住所 _____
 氏名 _____ ㊟
 (年 月 日生)
 メンバー ID _____

移籍承諾書

○ 承諾者（移籍元チーム責任者）

上記の競技者 _____ について _____ チーム
 への登録（移籍）を承諾いたします。

所在地 _____
 チーム名 _____
 チーム ID _____
 代表者名 _____ ㊟

申請受付日 _____ 年 月 日
 受付担当者 _____ ㊟

コーチについて

- コーチとは、JBA公認E級以上のコーチライセンスを持ち、チームに登録されている者のことです（選手、帯同審判との兼任可）。
- 試合中は、JBA公認E級以上のコーチライセンスを持ち、チームに登録されたコーチがベンチにいるようにしてください。
- JBA公認E級以上のコーチライセンス保有者をチームに1名以上登録してください（**複数名の登録が望ましい**）。
- **新規登録チームは、2026年9月末日までにJBA公認E級以上のコーチライセンスを取得することを条件として、大会への参加を認めます。**
- コーチライセンスに関しては、（公財）日本バスケットボール協会のコーチ登録制度に従って取得してください（<http://www.japanbasketball.jp/coach>）。
- ヘッドコーチは、試合開始前のスタートチェック時、JBA公認コーチ登録証をオフィシャルに提示し、サインをしてください。
- ヘッドコーチは試合中、JBA公認コーチ登録証を見えやすい位置に着用してください。

帯同審判・オフィシャルについて

- 帯同審判とは、JBA公認E級以上の審判ライセンスを持ち、連盟主催の帯同審判講習会を受講し、チームの帯同審判として登録されている者のことです（選手、コーチとの兼任可）。
- 試合中は、JBA公認E級以上の審判ライセンスを持ち、連盟主催の帯同審判講習会を受講し、チームに帯同審判として登録された審判がベンチにいるようにしてください。
- 帯同審判をチームに1名以上登録してください（複数名の登録が望ましい）。
- 審判ライセンスに関しては、（公財）日本バスケットボール協会の審判登録制度に従って取得してください（<http://www.japanbasketball.jp/referee/>）。
- **新規登録チームは、チームに登録された帯同審判が必ず連盟主催の帯同審判講習会を受講し、2026年9月末日までにJBA公認E級以上のライセンスを取得することを条件として、大会への参加を認めます。**
- 帯同審判は必ずJBA公認審判員のワッペン、レフリースリッパ、黒色の長ズボン、黒色の靴下、黒色のシューズを着用し、笛も持参してください（JBA公認審判員セカンドユニフォームの着用も可。ただし、上下セットで着用すること）。
- 審判ウェアの下に、コンプレッションシャツやコンプレッションスリーブ、パワータイツなどの着用を認めます（黒色のみ、Tシャツ不可）。
- 帯同審判は、組み合わせ表に記載している両チームで行ってください。
- オフィシャルは、原則として、淡色チームが前半、濃色チームが後半を担当してください。

競技規則

- 2026バスケットボール競技規則を適用します。
- 日程表上段のチームが淡色（白色）ユニフォームを着用し、ベンチは、オフィシャル席に向かって右側とします。
- ユニフォームの下に、コンプレッションシャツやコンプレッションスリーブ、パワータイツなどの着用を認めます（Tシャツ不可）。
- コンプレッションシャツを着用する場合、着用する選手、しない選手、および長袖の選手、半袖の選手がいても構いません。ただし、他の身につけるものと同色とし、チーム内で統一してください（P14～17参照）。
- 前試合が定刻に終了しない場合は、前試合終了の10分後に次試合を開始します。
- 各リーグの順位は、勝ち点の多い順とします。
<勝ち点> 勝者：2点、 敗者：1点、 棄権・没収：-1点
- 2チームが同点の場合は、対戦の勝者を上位とします。
- 3チーム以上が同点の場合は、同点チーム間で行われた試合を対象に勝ち点の多い順とし、それでも同点の場合は、同点チーム間で行われた試合を対象に得失点差により決定します。
- それでも同点の場合は、JBA競技規則に従います。

競技規則<オープン>

- 一次トーナメント、二次トーナメント、また、それ以降（後期）の順位決定戦は、正規計測（10-2-10-10-10-2-10）で行います。延長は、2分間のインターバル後、5分間行います。審判は、連盟から派遣します。
- 上記以外の試合時間は、ローカルルールで行います。フリースロー、タイムアウト、第4クォーターの残り2分間のみ正規計測とします（10-1-10-5-10-1-10）。延長は、1分間のインターバル後、3分間行います。
- 男子1部・2部、女子1部・2部の選手権予選リーグ戦の審判は連盟から派遣します。それ以外は基本的には帯同審判制で行いますが、一部の指定試合は、連盟から派遣する場合があります。
- 二次トーナメントの結果、上位チームから、連盟推薦により全日本社会人選手権大会近畿ブロック予選の出場資格を与えます。

競技規則<オーバーエイジ・フレンドリー>

- OA40の試合は、正規計測（10-2-10-10-10-2-10）で行います。延長は、2分間のインターバル後、5分間行います。審判は、連盟から派遣します。
- OA50の試合は、正規計測（8-2-8-10-8-2-8）で行います。延長は、2分間のインターバル後、3分間行います。審判は、連盟から派遣します。
- フレンドリーの試合は、すべて正規計測（8-2-8-8-8-2-8）で行います。延長は、2分間のインターバル後、3分間行います。
- フレンドリーの審判は、基本的には帯同審判で行いますが、一部の指定試合は、連盟から派遣する場合があります。
- 大阪府で開催する他府県との交流戦は、すべて正規計測で行います。審判は、連盟から派遣します。

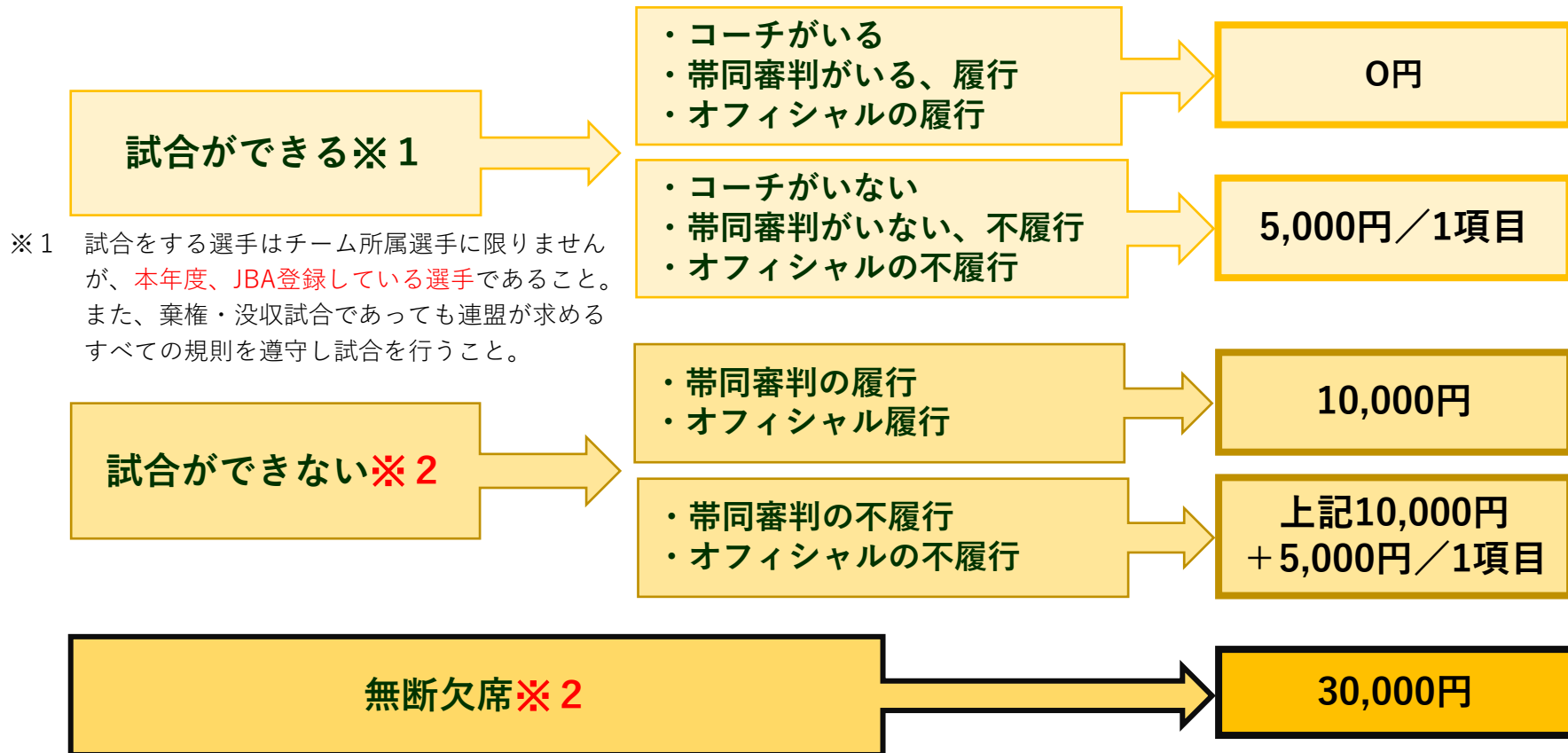
各カテゴリーの試合について

カテゴリー		前期	後期
オープン男子	1部	選手権予選リーグ終了後、リーグ順位戦を行い、二次トーナメントへ	
	2部	選手権予選リーグ終了後、一次トーナメントへ	
	3部	選手権予選リーグ終了後、3部A各リーグ1位、2位と、3部B各リーグ1位は、一次トーナメントへ	一次トーナメントに出場できなかったチームは、チャレンジリーグへ
	4部	選手権予選リーグ終了後、各リーグ1位は一次トーナメントへ	一次トーナメント敗退チームは、トライアルリーグへ
オープン女子	1部	選手権予選リーグ終了後、リーグ順位戦を行い、二次トーナメントへ	
	2部	選手権予選リーグ終了後、リーグ順位戦を行い、一次トーナメントあるいは二次トーナメントへ	二次トーナメントに出場できなかったチームは、チャレンジリーグへ
	3部	選手権予選リーグ終了後、各リーグ1位は一次トーナメントへ	一次トーナメント、二次トーナメントに出場できなかったチームは、チャレンジリーグへ
OA40・OA50		<ul style="list-style-type: none"> ・チャンピオンシップリーグ戦を行い、上位チームに全日本社会人O-40/O-50選手権大会近畿ブロック予選の出場資格を与える ・交流戦を行う 	リーグ戦、あるいは、交流戦を行う
OAF40 OAF50・60		<ul style="list-style-type: none"> ・リーグ戦、あるいは、交流戦を行う ・連盟の推薦で、日本社会人フレンドリーシップの出場資格を与える 	

棄権・没収について

- やむを得ない理由により棄権する場合、**必ず試合日より3日前の23:59までに連盟にメールで連絡**をしてください。
- 試合開始時刻にチームに登録された5名以上の選手が揃っていない場合、没収とします。
- チームに登録されたコーチが、試合開始時刻、また、試合中ベンチにいない場合は、没収とします。
- チームに登録された帯同審判が、自チームの試合時、ベンチに一人もいない場合、また、割り当てられた帯同審判不履行の場合は、没収とします。
- チームに割り当てられたオフィシャル不履行の場合は、没収とします。
- 棄権したチーム、没収の原因となったチームの試合結果は0-20で敗戦とします。
- 棄権・没収の場合、勝点-1点となり、「棄権・没収の場合のペナルティについて (P13)」に記載のペナルティが棄権・没収の原因となったチームに課されます。
- 相手チームへのペナルティ料の支払いに関しては、競技部の指示に従ってください。
- 本来チームが実施する帯同審判に関して、やむを得ず連盟から派遣した場合、棄権したチーム、没収の原因となったチームには、連盟規定の審判料（交通費含む）を支払っていただきます。

棄権・没収の場合のペナルティについて



※1 試合をする選手はチーム所属選手に限りませんが、本年度、JBA登録している選手であること。また、棄権・没収試合であっても連盟が求めるすべての規則を遵守し試合を行うこと。

※2 あわせて、年度内の残り試合や次年度の登録を認めない場合があります。また、試合日より3日前の期日を過ぎての棄権連絡の場合は、上記ペナルティに5,000円が加算されます。

本来チームが実施する帯同審判に関して、やむを得ず連盟から派遣した場合、棄権したチーム、没収の原因となったチームには、連盟規定の審判料（交通費含む）を支払っていただきます。

身につけられるもの①

プレイヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

マウスガード（無色透明）

ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色をそろえる必要はありません。

プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

色の指定なし

チームで色をそろえる 必要があるもの

- 腕のコンプレッションスリーブ
- 足のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- ヘッドバンド
- リストバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色をそろえる 必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下肢部の防具
- 膝の装具（※1）
- 足首の装具（※1）
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク

※1 / 装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

ソックスは上記と色を揃える必要はないですが、選手全員で色を揃えること。

例>ソックスは白色、コンプレッションは黒色でも大丈夫です。

身につけられるもの②

チームで色を揃える必要があるもの

○腕のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイツ)



○ヘッドバンド



※最大10cmの幅で、繊維素材のもの

○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



○肩のサポーター



※最大10cmの幅で、繊維素材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○膝のサポーター



パワーファインド社製のゲニョトレインについて



パワーファインド社製のゲニョトレインは医療器具のため装具として扱われます。そのため色の制限はありません。

○足首のサポーター



○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



身につけられるもの③

装具について

- 装具とは、骨折や術後の治療に必要となる**固定具**や**免荷装具**のことです。
- 病院で診察、治療を受け、**医師の処方（診断書）**のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

プレイヤーが競技中に身につけられないものについて

○スカーフスタイルのヘッドバンド



○無色透明以外のマウスピース



(メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可)

○点滅するライト、反射素材や
その他装飾物が付いたシューズ



○ヘルメット



○固定具や支持具で、皮革、プラスチック、
合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくら
れているもの

○他のプレイヤーに切り傷やすり傷を与える
ようなもの（爪は短く切っておくこと）



○商業的、宣伝的、チャリティー目的の
名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの

○柔らかいパッドで覆われていても、
指、手、手首、肘や前腕の防具



○ヘアアクセサリーや貴金属類



身につけられるもの④

シャツ（コンプレッション）の着用について

- 半袖シャツと長袖シャツの混用着用は認められますが、色はチーム内で統一してください。
- Tシャツの着用は認めません。
- シャツとタイツの色を揃えてください。
- シャツは全体として単色で柄や模様が入ったものは着用できません。ただし、模様があっても単色と認定できるものは着用できます。
- 同系色以外のラインが入っているものは不可とします。
- メーカーのロゴについては、色に制限はありませんが、大きさは20cm²以下とします。

着用できるシャツ



ハイネック



ロゴが入っている



模様はあるが
単色と認定できる

着用できないシャツ



模様がある
単色ではない



ラインに同系色では
ない色がついている



コンプレッション系
のウエアではない

その他注意事項

- 1試合目に試合およびオフィシャルのチームは、会場設営に協力してください。
- 最終試合およびオフィシャルのチームは、撤収作業に協力し、最後に全員でモップをかけてください。
- **ごみは、必ず各自の責任で持って帰るようにしてください。**
- **子供はフロアに入れません。**
- 体育館の使用にあたっては、駐車場も含め、各体育館のルールに従ってください。
- ベンチを含むフロア内での飲食は禁止とします。ただし、ふたのできるペットボトルや水筒での水分補給に限り認めます。紙パックやプラスチックカップなど、ふたがあっても密閉のできない容器は禁止とします。
- **ベンチおよびコートのあるフロア内での試合撮影は、危険防止の観点から禁止します。観客席など、試合中の選手、審判、ボールなどが及ばない場所から撮影してください。**
- 盗難や紛失、破損などに関して、当連盟は一切の責任を負いません。
- 忘れものは、各体育館の事務所に預けますので、各自で取りに行ってください。
- 試合会場での負傷に対しては、当連盟では救急車を呼ぶ程度の処置しかできません。また、**救急車対応についても各体育館のルールに従いますので、個人で呼ぶことはせず、役員に対応を求めてください。**
- いかなる場合にも、JBA登録費、大会参加料については、返金いたしません。
- **チームや選手が、連盟の定める規約や大会注意事項などを遵守しなかった場合、あるいは、社会人としてのマナーやモラルを欠いた言動があった場合には、大会主催者（連盟理事会）がその処遇について判断します。**

各種お問い合わせ

大阪府社会人バスケットボール連盟

メールアドレス：syakaijin@osakabasketball.jp

HPアドレス：<http://osb.osakabasketball.jp/>

大会日程・試合結果・緊急連絡事項等は連盟ホームページに掲載します。